

# 山梨スマートドライバー 第4回ミーティング レポート

2014.7.16(水)

# くるまと アート



2014年7月16日、山梨県立図書館で、約15人の参加者を迎えて、山梨スマートドライバーの第5回ミーティングを行いました。今回のテーマは「くるまとアート」です。地球規模で活動するアーティストたちを甲府で受け入れ、そこから見えた生活、制作、そして移動手段とは。「ローカルとアート、移動」を通じて、スマートドライブを空想しました。

## プレゼンター

Artist in Residence Yamanashi/  
gallery AIRY

## 坂本 泉さん

甲府市生まれ。甲府南高校、女子美術大学を卒業後、山梨県立美術館職員、美術科教師を経てアメリカ在住3年。2005年AIRY立ち上げ、2009年現在地にて活動始める。甲府をベースに世界各地からアーティスト滞在を受け入れ、地方都市で刺激的な発信を続ける。これまでに20カ国から50名のアーティストを受け入れてきた。コンパクトシティ甲府とアートとは。Think global, Act local をモットーにアートの魅力を伝える活動を発信している。



最近のプロジェクト:～まちと人をつなぐかたち～「遊亀公園ウォール・ペイント・プロジェクト」(2014年3～5月)

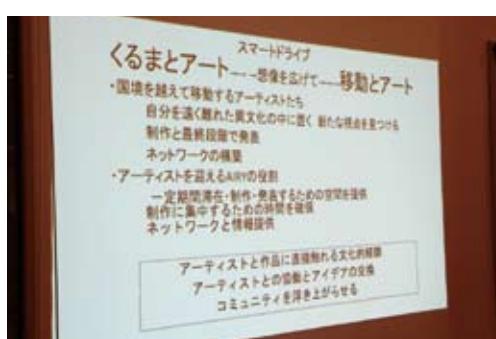
## 世界中のアーティストを通じて 見えてきた甲府という街

### 甲府市内の病院を改装 住みながら、製作、発表の場 アートを通じた人と地域の 相互交流をサポート

坂本泉さんは、世界中のアーティストを受け入れ、創作活動をサポートする活動として、ARTIST IN RESIDENCE YAMANASHI(以下AIRY)を2005年に立ち上げました。2009年に甲府市丸の内の産婦人科医院をリフォームして、住みながら、製作、発表ができる拠点が生まれました。今までに20カ国からアーティストを受け入れてきました。

「『くるまとアート』から想像を広げて、『移動とアート』、そして、ローカルを含めて考えてみます。何故、アーティストに移動が必要なのかを想像してみると、慣れ親しんだ土地を離れて、異文化の中に移動することで、全く新しい発見が生まれるからではないでしょうか。それが創作活動の大きなヒントになっています」と坂本さん。アーティストたちは甲府で暮らしながら、甲府で何をしたいかを探して、創作活動に繋げています。ネットワークの構築もとても大切です。甲府の人や、作家、あるいはAIRYを通じて、世界中のアーティストとつながるネットワークを築いていきます。

甲府の街で創作活動を行うことで、甲府の人は直接、作品に触れることができ、話も聞くことができます。アーティストと協働して、新たなコラボレーションの可能性も生まれます。甲府に入り込むことで、既存のネットワークを浮き上がらせて、当たり前に感じていたモノから、新しい発見が見えてきます。



今年の3月から5月まで、ニュージーランドの若い女性アーティストが甲府市の動物園に絵を描く活動を行いました。どんな動物、植物を描くかを考えるため、市民、子どもとワークショップを行いながら、進めました。

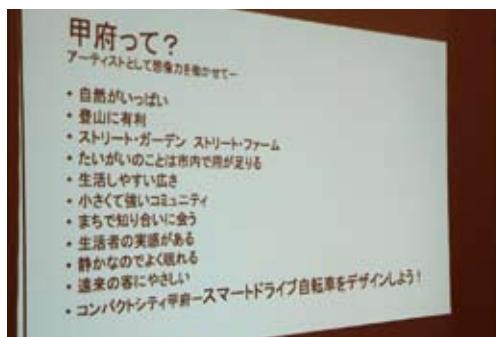
もうひとり、自ら、街に出て交流を広げ、甲府の人たちに愛されたオーストラリアの女性アーティストがいました。他の作家と共同で版画作品を製作するような、個人のみではない関係性のあるアートを追求し、AIRYの床を小さな紙に写し取り、作品に仕上げてくれました。甲府の川の水、メルボルンの川の水を使った陶芸作品も製作してくれました。また、山梨とメルボルンの作家20人ずつがお互いに相手先に作品を送り、空間を超えた展示企画も成功させました。これは新しい地平線を作るという試みでした。

## コンパクトシティ甲府は 自転車こそ、最適な移動手段

生活しやすい広さの甲府  
小さくても強いコミュニティ  
自転車をデコレーションして  
甲府の街を走るAIRY号完成

アーティストから、甲府はどのように見えたのかを今まで聞いてきました。小さくても強いコミュニティがあるという意見は、意外でした。たいていのことは市内で事足りる「コンパクトシティ」であるとも言ってます。そんな街の移動には自転車がピッタリではないでしょうか。

最後に参加者全員で、アーティストが甲府の街で使う自転車をデコレーション＆ペインティングしました。完成した自転車は、実際に甲府の街でアーティストに使ってもらいます。



## 最後に、参加者全員で記念撮影



山梨スマートドライバーの第5回ミーティングに集まって頂いた皆様、ありがとうございました。自転車をデコレーションする皆さまの目が輝いておりました。坂本さん、貴重な体験ができ、ありがとうございました。そして、いつも山梨スマートドライバーを応援して頂いている皆様、ありがとうございます。「おもいやり」を増やすことで交通事故を減らす。これからも山梨スマートドライバーをよろしくお願ひします。



ご参加、ありがとうございました。

